



子どもが主役の学校

瑞穂の里

角田市立北郷小学校

学校だより 第12号

平成31年1月30日発行

角田市岡字阿弥陀入11-2

TEL:0224-68-2345 文責：校長

立春を迎えて

校長 鈴木 博幸

暦の上ではもうすぐ立春を迎えます。寒い日が続いていますが、日ごとに日が長くなり、季節は確実に春に向かっていていると感じる今日この頃です。

1月中旬から、インフルエンザの感染拡大を防ぐために行事の自粛や学年閉鎖等の対応を行いました。御理解をいただき大変ありがとうございます。今後も、感染拡大予防に向けて、努力をしてみりますので御協力をお願いいたします。

さて、2月3日は「節分」です。「節分」は、季節の分かれ目のことであり、「立春、立夏、立秋、立冬」のそれぞれの前日を指しますが、特に「立春」の前日を指すことが多くなったのは江戸時代以降だそうです。冬から春になるこの時期を1年の境目とし、より重要に考えられていたためだそうです。節分には、昔から「豆まき」の習慣がありますが、そのルーツとして、平安時代頃、季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられており、それを追い払うための行事（追儺）が行われていたことが由来であるという説もあります。今年の節分では、風邪やインフルエンザなどをもたらす悪い鬼を追い払い、子供たちが元気に学校に登校できることを祈りたいと思っております。



特色ある
教育活動

縦割り活動

本校では、縦割り活動を行っております。異年齢児童が活動を共にすることにより、思いやりの心を育て、協力し助け合う態度を養います。具体的な活動の場として、「運動会、縦割り遊び、キタリンピック、児童朝会」などがあります。全体を6色に分け、6グループ構成になっています。さらに各色の中でA、Bの小グループを作り、必要に応じて6つの大グループで活動したり、1、2の小グループで活動したりしています。

